

第23回 初級CAD検定試験実施結果

(基準日：令和5年7月14日)

ま え が き

本協会は、主として工業高校に学ぶ生徒のために、CADに関する知識の習得と技能の向上を願い、平成13年度にCAD検定制度を発足させ、今日に至りました。

以来、毎年1回の検定試験を実施し、今年度で第23回を迎えることになりました。

今回を含めた受検者数は延べ115,646名になり、工業高校をはじめ総合学科を有する高校におけるCAD教育の発展と充実に大きく寄与してきたと確信しています。

これはひとえに、日頃からご指導いただいている関係の皆様方からのご尽力の賜と深く感謝を申し上げます。

さて、今日製図教育はCAD等の普及に伴い、その学習環境も大きく変化し、製図教育の内容については総合的に検討することが求められています。

学習指導要領の製図の目標は、「製図に関する日本工業規格及び工業の各専門分野の製図に関する知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。」と謳われています。

この目標を踏まえCAD教育は、今後も産業社会の発展に貢献できる内容として、製図本来の目的である加工者のための図面でなくてはならない視点と、技術革新に対応するために必要な基礎・基本の理解と定着を図らねばならない視点の両面で、さらに検討を進める必要があると考えています。

令和5年度の第23回初級CAD検定の実施結果では、参加校197校、受検者4,889名の参加となり、前年度より34名減少しましたが、その合格率は78.2%となり、1.7ポイントあがりました。

本検定の運営につきましては、CAD教育の今後の重要性を考え、なお一層組織的にまた計画的に取り組むことが大切であると考えています。

令和5年度初級CAD検定試験の問題作成につきましては、本協会内に検定委員会を設置し、これにあたりました。関係委員の方々に衷心より感謝の意を表す次第です。

第23回 初級CAD検定試験 実施結果

【 R5年度 第23回 】

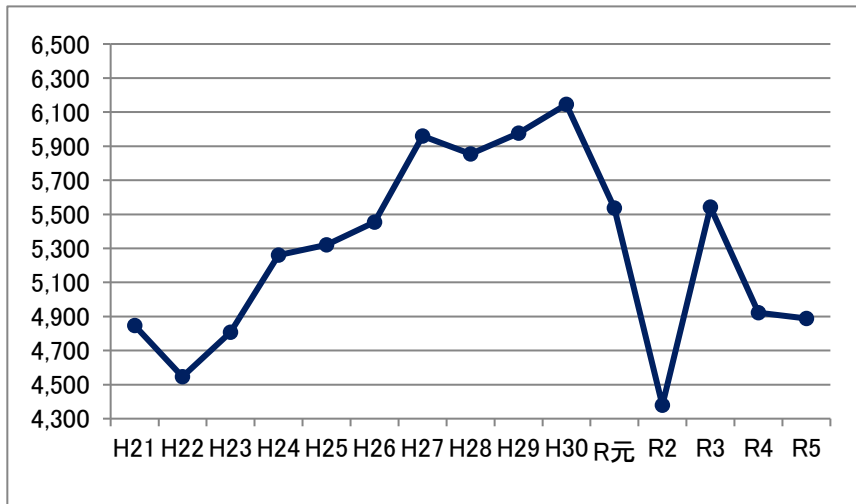
種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率
機械系	161	3,457	3,349	2,640	78.8%
建築系	68	1,576	1,540	1,181	76.7%
	197	5,033	4,889	3,821	78.2%

【 年度別実績 】

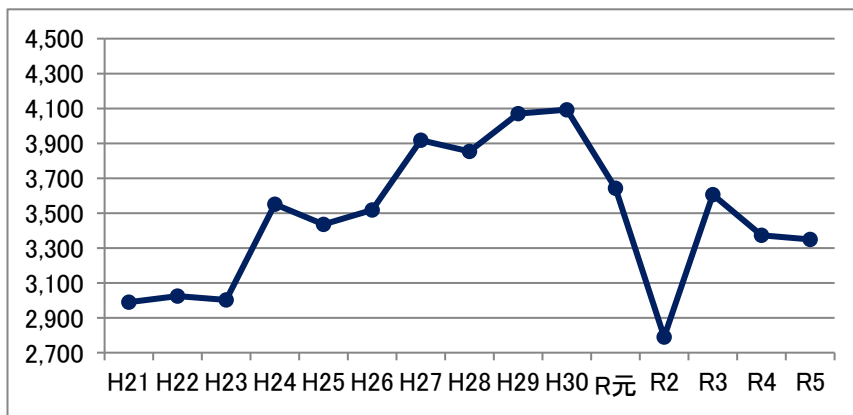
年度・回数	種別	校数	申込者	受検者	合格者	合格率	延べ受検者数
H13～H20年度 第8回まで	-	-	-	36,175	-	-	36,175
H21年度 第9回	機械系	145	3,082	2,990	1,838	61.5%	41,021
	建築系	78	1,892	1,856	1,016	54.7%	
H22年度 第10回	機械系	145	3,088	3,024	2,364	78.2%	45,567
	建築系	82	1,549	1,522	1,074	70.6%	
H23年度 第11回	機械系	150	3,061	3,003	2,106	70.1%	50,375
	建築系	86	1,852	1,805	956	53.0%	
H24年度 第12回	機械系	160	3,589	3,550	2,615	73.7%	55,636
	建築系	86	1,742	1,711	1,177	68.8%	
H25年度 第13回	機械系	154	3,498	3,435	1,869	54.4%	60,956
	建築系	86	1,919	1,885	1,194	63.3%	
H26年度 第14回	機械系	157	3,578	3,517	2,445	69.5%	66,410
	建築系	82	1,983	1,937	1,117	57.7%	
H27年度 第15回	機械系	156	4,025	3,917	2,810	71.7%	72,370
	建築系	87	2,089	2,043	1,309	64.1%	
H28年度 第16回	機械系	149	3,924	3,853	2,738	71.1%	78,224
	建築系	85	2,037	2,001	1,303	65.1%	
H29年度 第17回	機械系	166	4,164	4,070	3,220	79.1%	84,231
	建築系	77	1,933	1,937	1,336	70.1%	
H30年度 第18回	機械系	166	4,211	4,093	3,018	73.7%	90,376
	建築系	86	2,089	2,052	1,413	68.9%	
R元年度 第19回	機械系	161	3,714	3,642	2,789	76.6%	95,912
	建築系	81	1,927	1,894	1,288	68.0%	
R2年度 第20回	機械系	119	2,885	2,790	2,148	77.0%	100,291
	建築系	62	1,605	1,589	1,308	82.3%	
R3年度 第21回	機械系	148	3,658	3,606	2,711	75.2%	105,834
	建築系	75	1,964	1,937	1,484	76.6%	
R4年度 第22回	機械系	149	3,498	3,373	2,494	73.9%	110,757
	建築系	72	1,591	1,550	1,270	81.9%	
R5年度 第23回	機械系	161	3,457	3,349	2,640	78.8%	115,646
	建築系	68	1,576	1,540	1,181	76.7%	

受検者数の推移

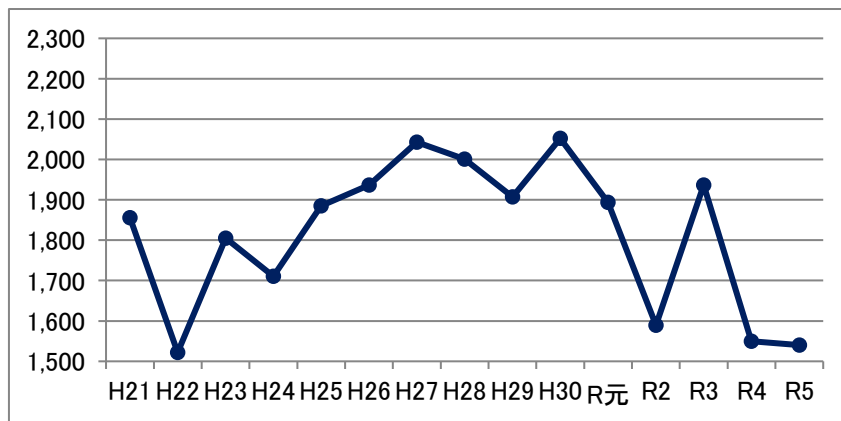
機械系・建築系 合計数



機械系

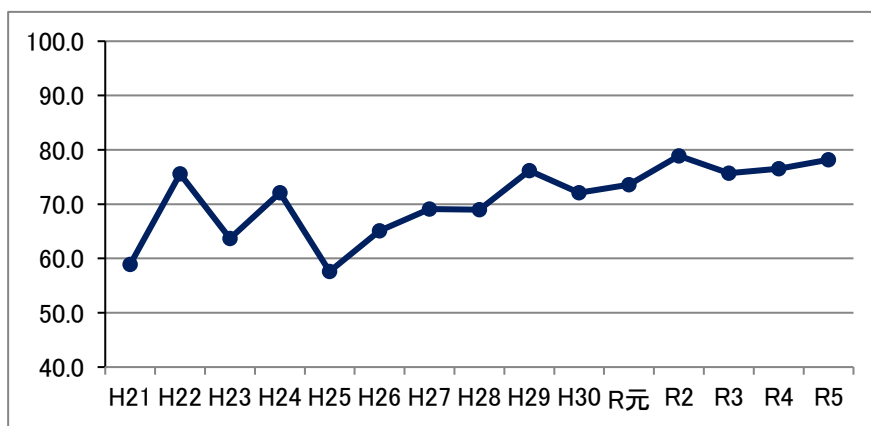


建築系

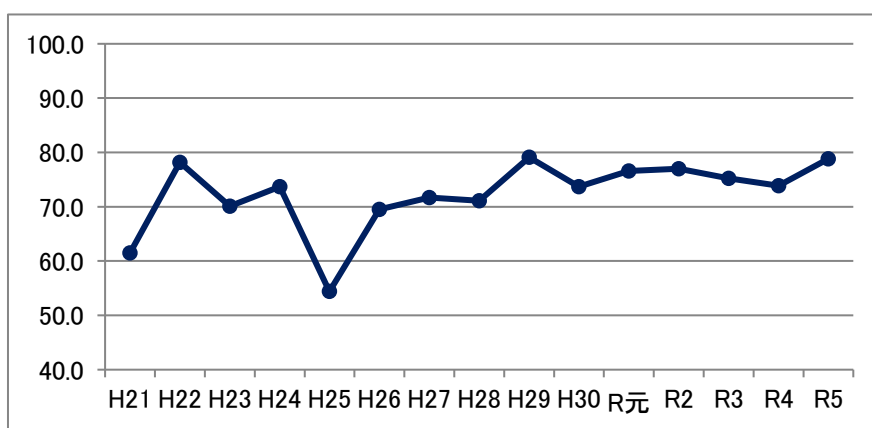


合格率の推移

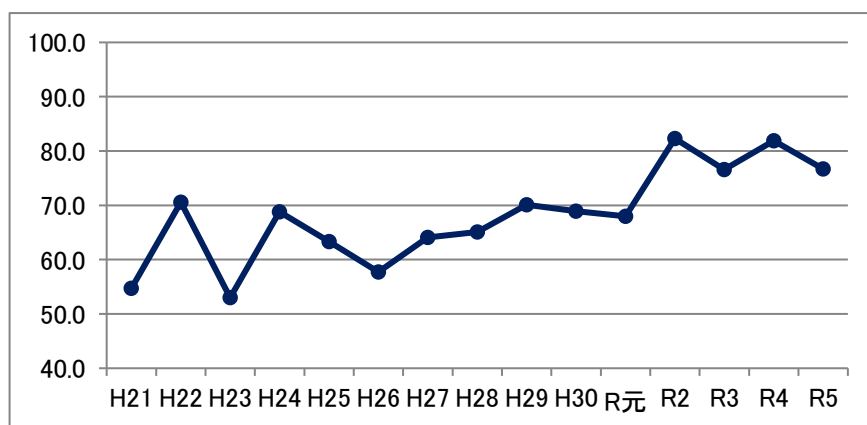
機械系・建築系 合計



機械系



建築系



第23回 初級CAD検定 試験問題・解答

※問題文について以下の訂正があります。

筆記試験問題 問題1の③の解答について

訂正前 ケ → 訂正後 ケ（回転移動）、工（回転）の両方を正解とする

第23回 初級CAD検定試験

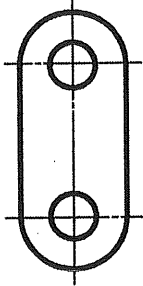
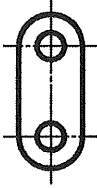
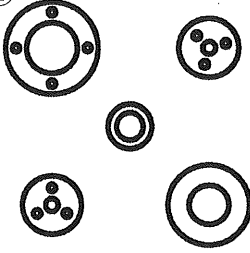
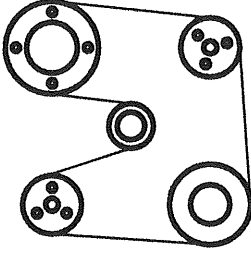
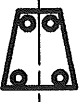
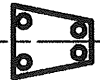
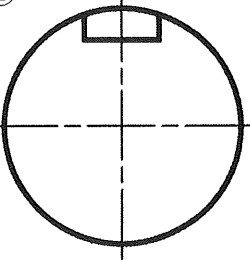
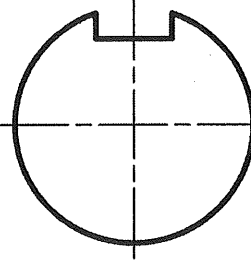
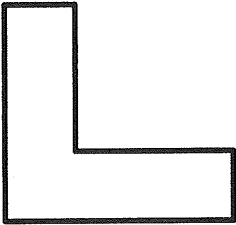
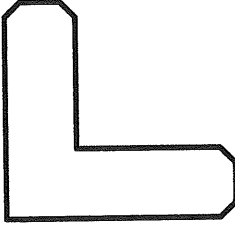
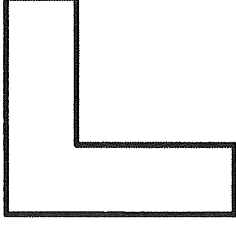
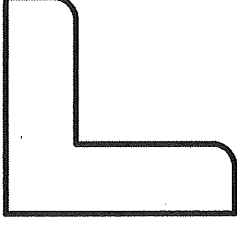
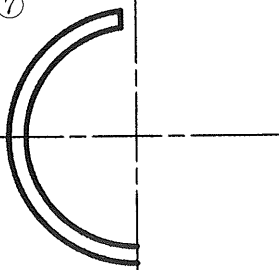
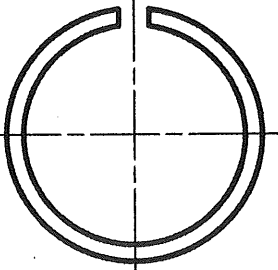
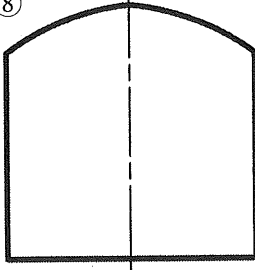
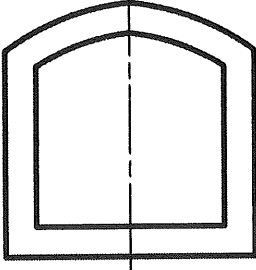
機械系・建築系 筆記試験問題

注意事項

- 1 試験時間は30分です。
- 2 問題①～③は各科共通問題，④～⑥の専門科目の問題は選択方式です。機械系の問題と建築系の問題の順になっていますので注意してください。
- 3 解答用紙は，後ろにあります。共通問題は白，機械系は水色，建築系は黄色の用紙になっています。該当する部分を切り離して使用してください。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
CAD検定委員会

1 次の①～⑧の図は操作機能を使って操作したものである。コマンド名を解答群から選び、記号で答えなさい。

操作前	操作後	操作前	操作後
① 		② 	
③ 	+ 	④ 	
⑤ 		⑥ 	
⑦ 		⑧ 	

解答群

- | | | | |
|-----------|-----------|---------------|---------|
| (ア) トリミング | (イ) オフセット | (ウ) 縮小 (尺度変更) | (エ) 回転 |
| (オ) 角丸め | (カ) 面取り | (キ) スプライン曲線 | (ク) 接線 |
| (ケ) 回転移動 | (コ) ハッチング | (サ) ミラー (複写) | (シ) 同心円 |

② 次に示す文は J I S による C A D 用語の定義である。①～⑤に適する語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

定 義	用 語
コンピュータグラフィックスなどの技術を利用して生成した動画，又はこれを生成すること。	①
三次元形状を， ② によって表現した形状モデル。	ワイヤーフレームモデル
格子上の点群の 1 次結合として表現された式において，バーンスタイン多項式の積を係数関数として用いた曲面。	③
境界で隣接した ④ の集合。	シェル
三次元形状の投影図において，実際には隠れて見えない線を表示しないこと。	⑤

(JIS B 3401 : 1993)

解 答 群

(ア) 面分	(イ) 対称	(ウ) 画像	(エ) りょう (稜) 線
(オ) C A D	(カ) ベジエ曲面	(キ) 集合演算	(ク) 隠線消去
(ケ) コンピュータアニメーション	(コ) スプライン曲面		

3 CADシステムの周辺機器・媒体の操作や運用について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の文中の①～⑨に当てはまる適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

- 1 コンピュータ本体や周辺機器などの制御や、コンピュータが使用する言語を利用者が扱えるように変換する役割をしているものを（①）といい、ワープロや表計算、画面処理などを行うために開発されたものを（②）という。
- 2 CADシステムのソフトウェアには、一般的な平面図を作成する（③）ソフトウェアと立体図形も作成できる（④）ソフトウェアがある。
- 3 コンピュータで処理された図形や計算結果などを画面上に表示する装置を（⑤）といい、紙面などに出力する装置を（⑥）という。
- 4 座標位置の指示方法には、原点を基準として位置を示す（⑦）と、直前の点を仮の原点として位置を示す（⑧）がある。
- 5 CADにおいて、異なるソフトウェア間でCADデータを交換する際に、ファイルの保存形式として（⑨）を用いることで、ほとんどのCADソフトに対応することができる。

解答群

(ア) ベクトル	(イ) 二次元CAD	(ウ) 三次元CAD
(エ) オペレーティングシステム	(オ) アプリケーションソフトウェア	(カ) マウス
(キ) プリンタ	(ク) キーボード	(ケ) DXF
(コ) 相対座標	(サ) 絶対座標	(シ) ディスプレイ

問2 次の説明はどの法令について述べたものか解答群から選び、記号で答えなさい。

他人のIDやパスワードを無断で使用したり、セキュリティホールなどを利用して無断でコンピュータやネットワークに侵入することを禁止している。また、他人のIDやパスワードを第三者に提供するなどの行為も禁止している。

解答群

(ア) 不正アクセス禁止法	(イ) 個人情報保護法	(ウ) 知的財産基本法
---------------	-------------	-------------

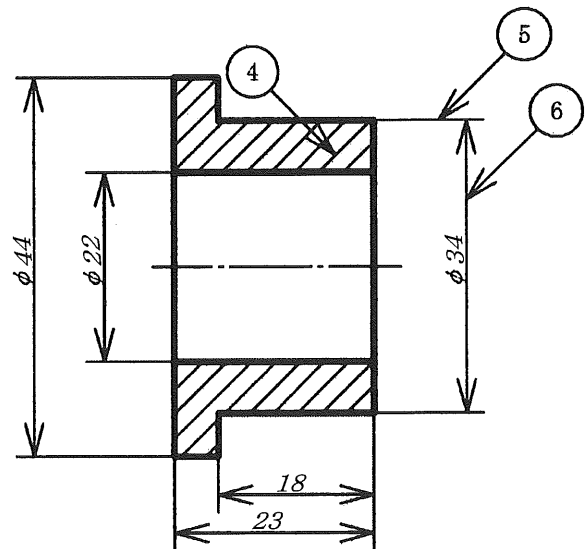
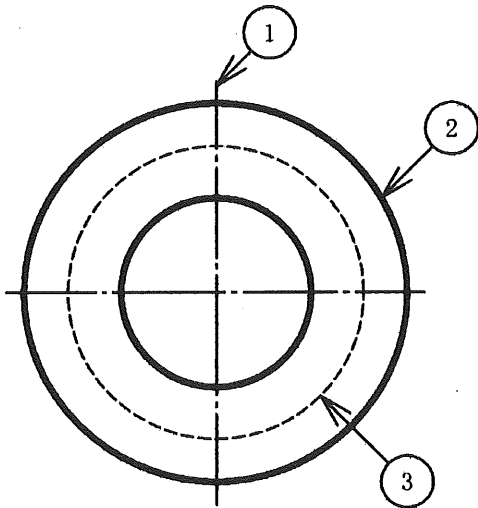
4 「製図 — 寸法記入法 — 一般原則」と「製図 — 図形の表し方の原則」について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の意味を表す寸法補助記号を解答群から選び、答えなさい。

意 味	記 号
正方形の辺	①
円の直径	②
球の直径	③
厚さ	④
円弧の長さ	⑤

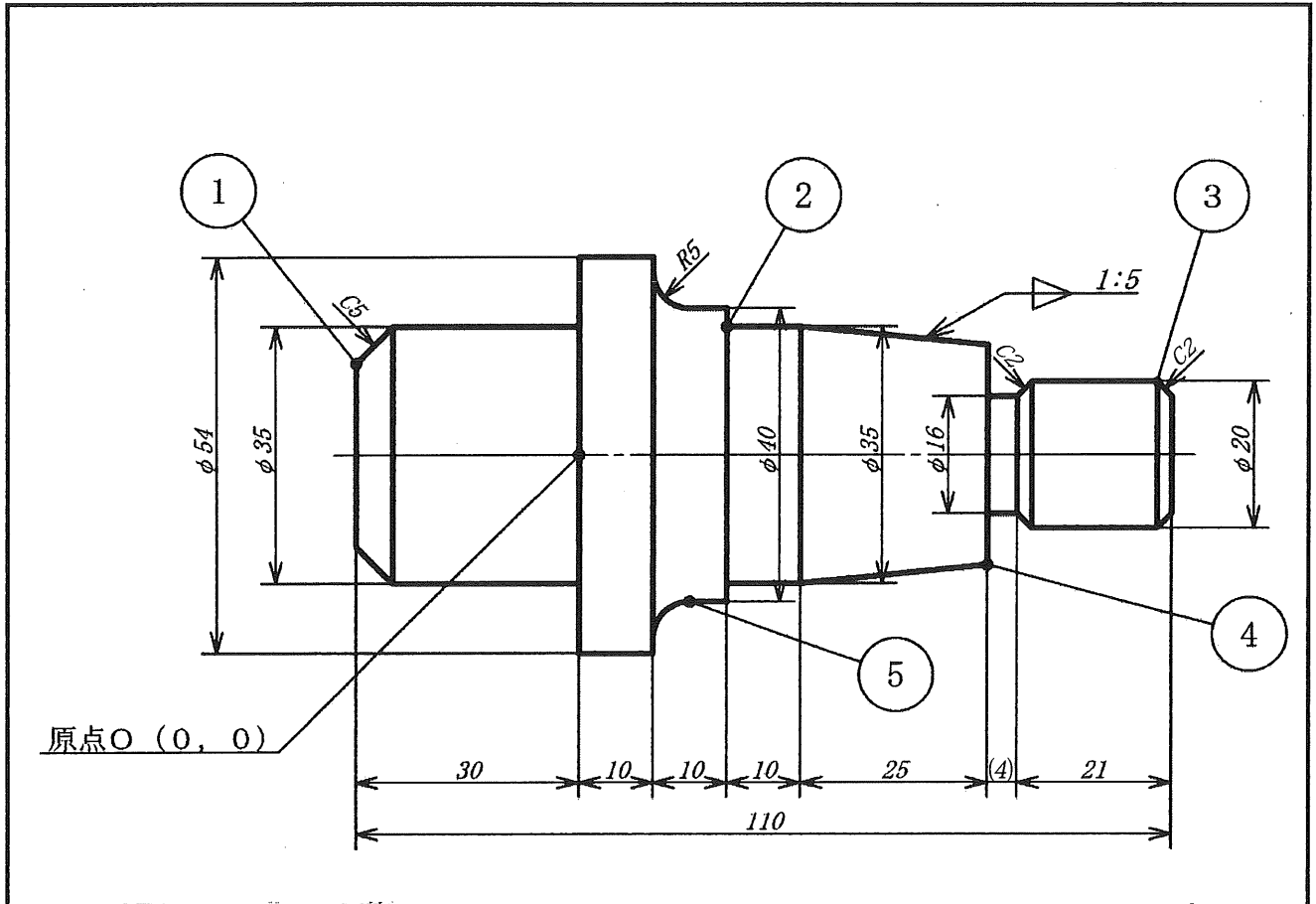
解 答 群
ϕ
R
$S\phi$
\square
$\sphericalangle R$
\frown
l
f

問2 次の図の①～⑥に対する適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。

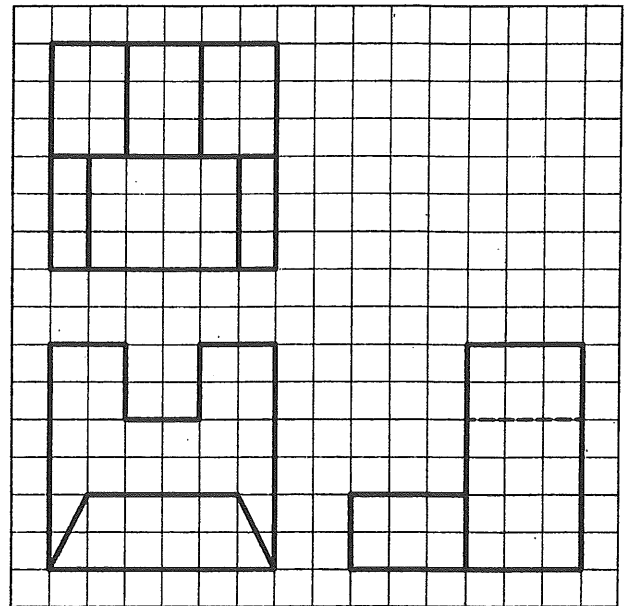


解 答 群			
(ア) 外形線	(イ) 破断線	(ウ) 中心線	(エ) かくれ線
(オ) 寸法補助線	(カ) 想像線	(キ) 寸法線	(ク) ハッチング

- 5 次の図において、原点Oの座標を(0, 0)とすると、①～⑤の各点の座標を求めなさい。
ただし、横軸をX軸、縦軸をY軸とする。

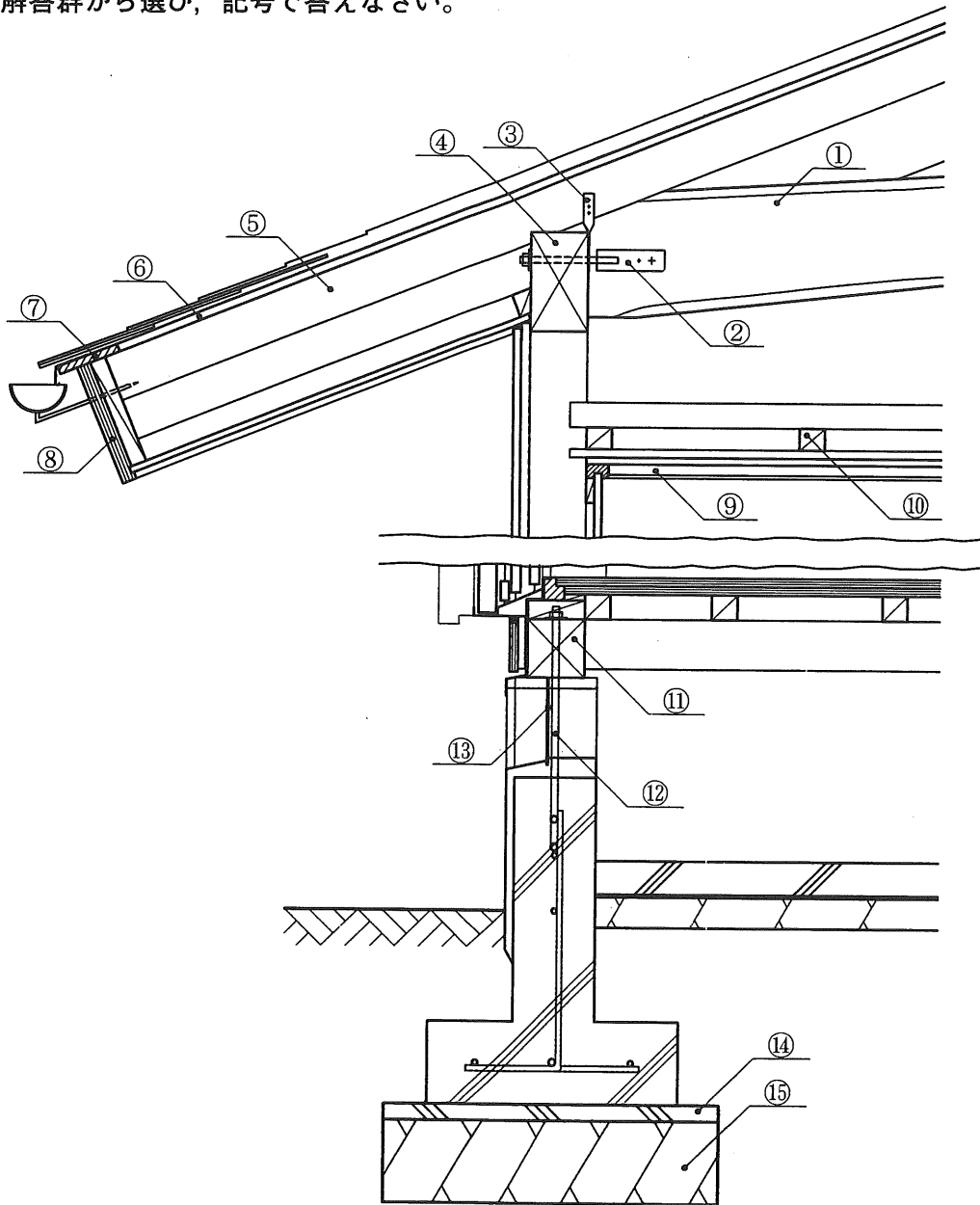


- 6 右の投影図は、第三角法で描かれている。この平面図、正面図、右側面図をもとに等角図法で立体図を完成させなさい。作図にあたっては定規、テンプレート、コンパスなどを利用して描きなさい。ただし、1目盛りの間隔は5 (mm)とする。



5 次の各問いに答えなさい。

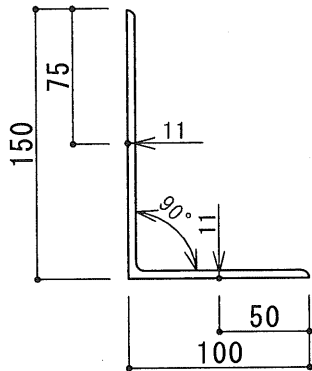
問1 次の木構造の軒先マワリ詳細図および土台マワリ詳細図に関して、①～⑮に適切な語句を解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群

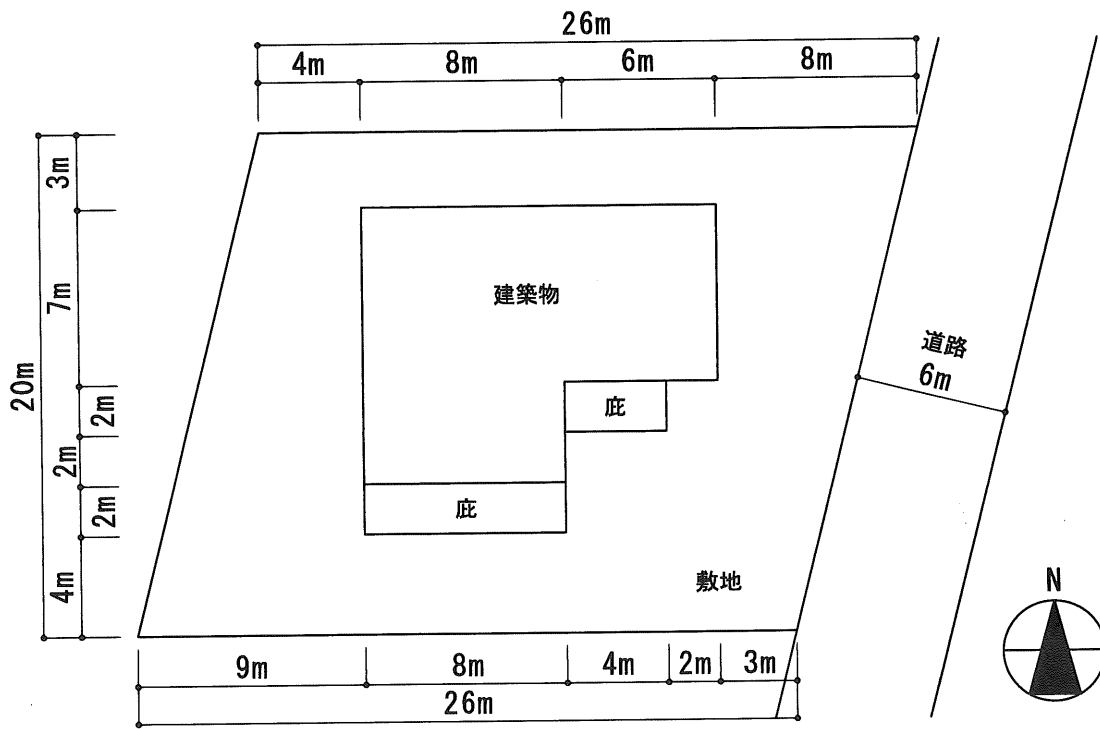
- | | | | | |
|--------|--------|---------|------------|---------------|
| (ア) 野縁 | (イ) 根太 | (ウ) 軒桁 | (エ) 天井回り縁 | (オ) アンカーボルト |
| (カ) 母屋 | (キ) 割石 | (ク) 小屋梁 | (ケ) ひねり金物 | (コ) 捨コンクリート |
| (サ) 土台 | (シ) 敷居 | (ス) 野地板 | (セ) 床下換気口 | (ソ) 防湿コンクリート |
| (タ) 垂木 | (チ) 鼻隠 | (ツ) 広小舞 | (テ) 羽子板ボルト | (ト) ホールドダウン金物 |

問2 次の図のような不等辺山形鋼の断面寸法の表示として、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



- 解答群
- (ア) L-100×11×150
 - (イ) L-75×50×11
 - (ウ) L-150×100×11
 - (エ) L-11×150×100

問3 次の図のような第1種低層住居専用地域内にある敷地に総2階建住宅を建築する場合、文中の空欄 (①) ~ (③) に適切な数値を答えなさい。

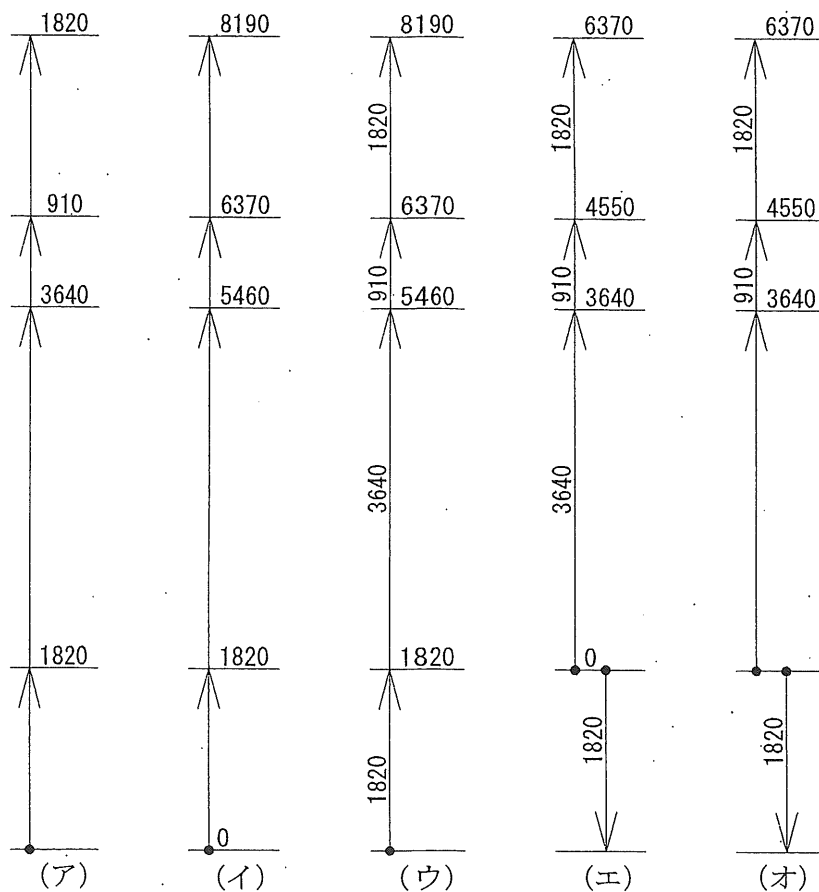
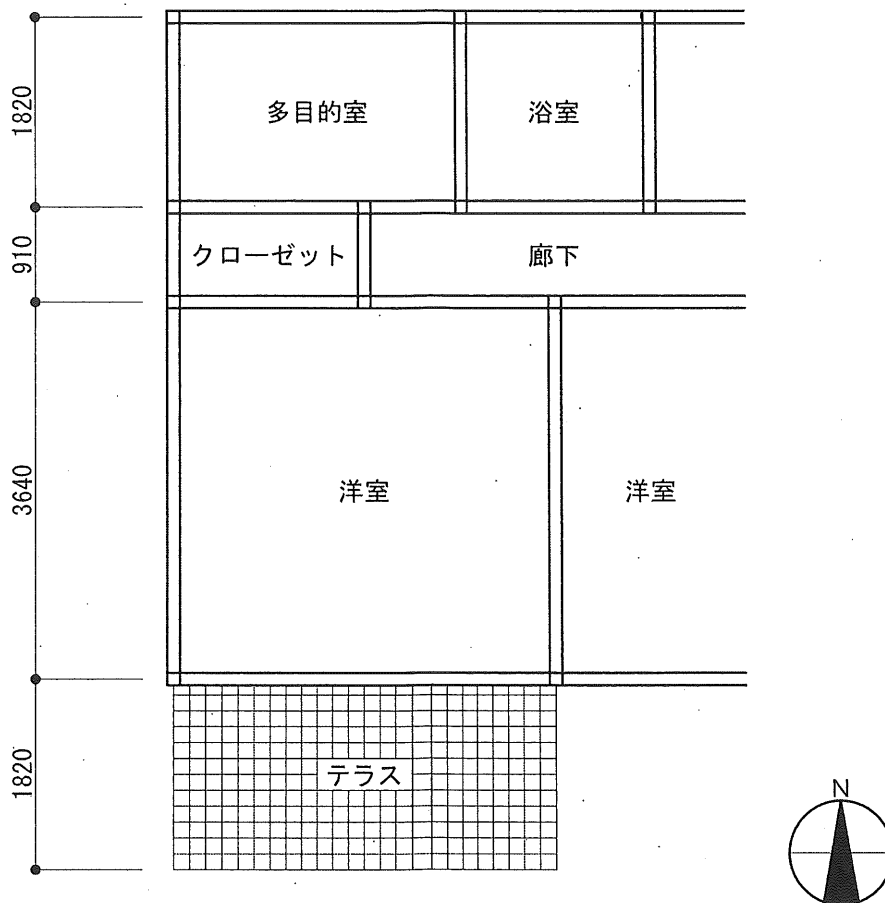


配置図

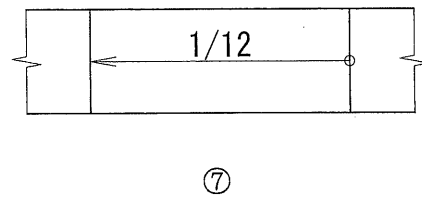
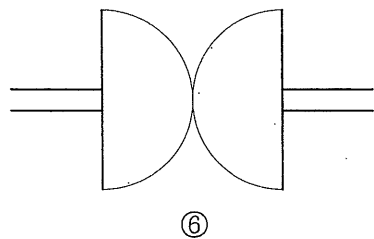
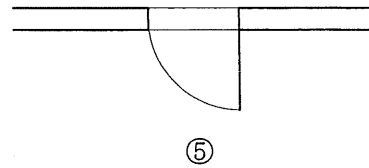
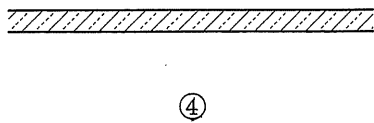
- 1 敷地面積は、(①) m²である。
- 2 建築面積は、(②) m²である。
- 3 容積率は、(③) %である。

6 建築製図の規則について、次の各問いに答えなさい。

問1 次の図のような形状の西側部分の組立基準線を用いて位置を示すとき、(ア)～(オ)のうち、適切なものを選び記号で答えなさい。



問2 次の平面記号および材料構造記号の表示①～⑦について、適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。



解答群

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| (ア) 自由扉 | (イ) 引違い窓 | (ウ) 保温吸音材 | (エ) 引違い戸 |
| (オ) 片開き窓 | (カ) 網窓 | (キ) 回転扉 | (ク) 斜路 |
| (ケ) 地盤 | (コ) 石材 | (サ) 片開き扉 | (シ) シャッター |

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (共通)

1

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	

2

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

3

問1

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨			

問2

--

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (機械系)

4

問1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

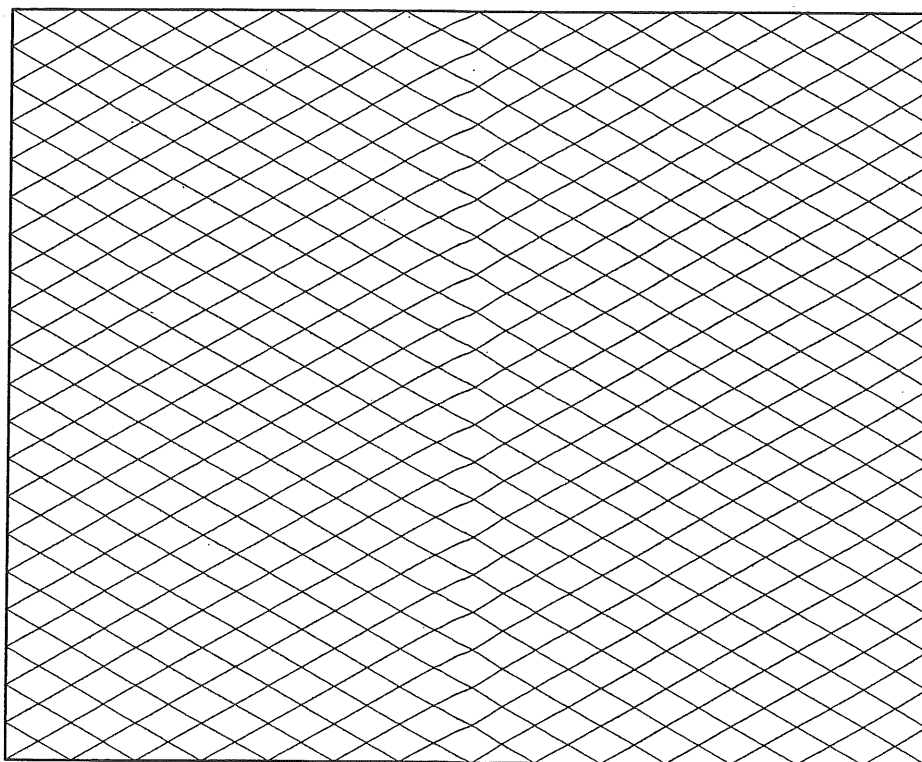
問2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

①	(,)	②	(,)	③	(,)
④	(,)	⑤	(,)		

6



受 検 番 号	4	5	6	小 計	合 計

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答用紙 (建築系)

4

問1

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問2

①		②		③		④		⑤		⑥	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

5

問1

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	
⑪		⑫		⑬		⑭		⑮	

問2

--

問3

①		②		③	
---	--	---	--	---	--

6

問1

--

問2

①		②		③		④		⑤	
⑥		⑦							

受検番号	4	5	6	小計	合計

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (共通)

1 【1点×8】

①	ウ	②	ク	③	ケ	④	ア
⑤	カ	⑥	オ	⑦	サ	⑧	イ

2 【2点×5】

①	ケ	②	エ	③	カ	④	ア	⑤	ク
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

3

問1 【1点×9】

①	エ	②	オ	③	イ	④	ウ	⑤	シ
⑥	キ	⑦	サ	⑧	コ	⑨	ケ		

問2 【1点×1】

ア

受 検 番 号	1	2	3	小 計

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (機械系)

4

問1 【4点×5】

①	□	②	ϕ	③	5ϕ	④	t	⑤	∩
---	---	---	--------	---	---------	---	-----	---	---

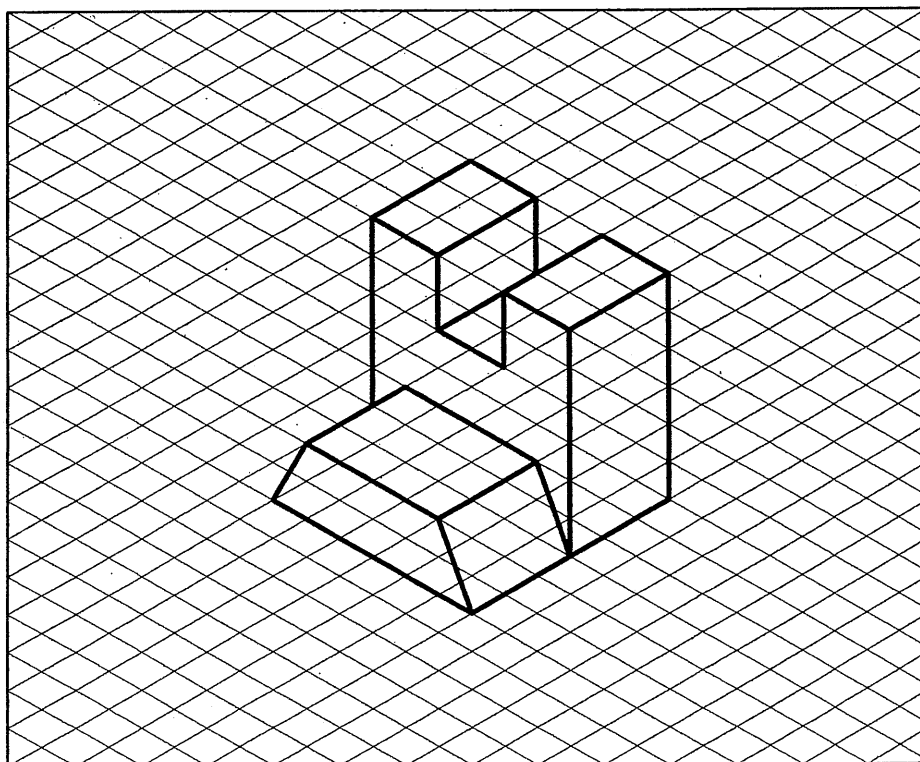
問2 【2点×6】

①	ウ	②	ア	③	エ	④	ク	⑤	オ	⑥	キ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5 【4点×5】

①	(-30, 12.5)	②	(20, 17.5)	③	(78, 10)
④	(55, -15)	⑤	(15, -20)		

6 【4点×5】



受検番号	4	5	6	小計	合計

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験採点基準 (機械系)

6

以下の作図線が、示されているときには指定された点数を加点する。

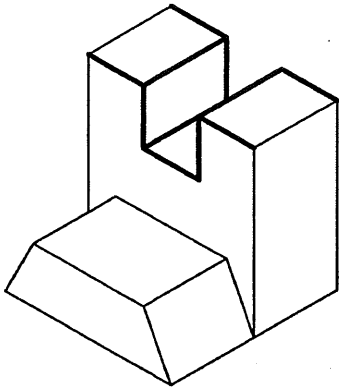


Fig. 1 4点

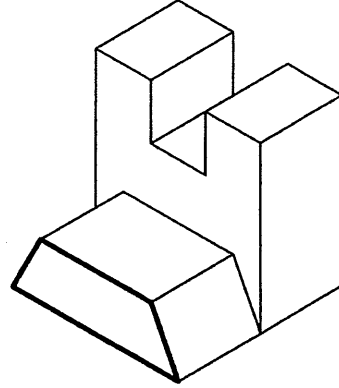


Fig. 2 4点

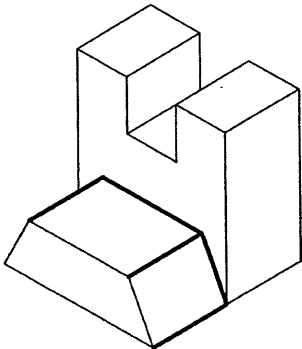


Fig. 3 4点

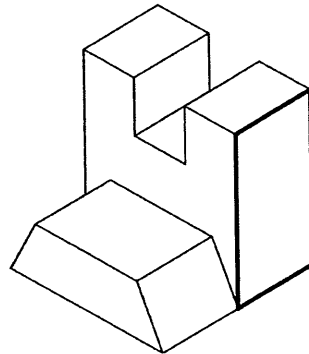


Fig. 4 4点

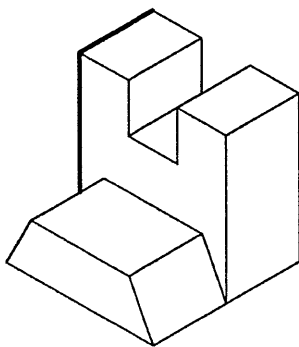


Fig. 5 4点

第23回 初級CAD検定試験 筆記試験解答 (建築系)

4

問1 【4点×5】

①	—	②	C	③	@	④	D	⑤	SR
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

問2 【2点×6】

①	イ	②	ク	③	カ	④	ウ	⑤	エ	⑥	オ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5

問1 【1点×15】

①	ク	②	テ	③	ケ	④	ウ	⑤	タ
⑥	ス	⑦	ツ	⑧	チ	⑨	エ	⑩	ア
⑪	サ	⑫	オ	⑬	セ	⑭	コ	⑮	キ

問2 【2点×1】

ウ

問3 【2点×3】

①	520	②	142	③	50
---	-----	---	-----	---	----

6

問1 【3点×1】

オ

問2 【2点×7】

①	カ	②	シ	③	エ	④	コ	⑤	オ	
⑥	ア	⑦	ク							

受検番号	4	5	6	小計	合計

第23回 初級 C A D 検定試験

機械系 実技試験問題

注意事項

- 1 試験時間 60分とする。(図面の出力時間は含まない)
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 その他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

問 題

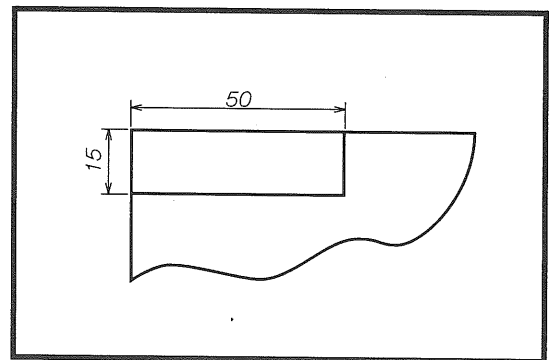
問題用紙に示されている品物は、第三角法で描かれている。

品物の製作図を製図要領に従いCADを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

ただし、寸法および注記などの記入については、指定された寸法 $90 - 0.5^0$ のみを記入し、他のものは記入しなくてもよい。また、断面図示に関わる切断面の位置を示す切断線と矢印、および回転図示断面図は描かなくてもよい。

製 図 要 領

- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA4判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1 : 1とする。
- 4 表題欄および部品欄はなくてもよい。
- 5 輪郭線を描き、左上の内側に、たて15mm、よこ50mmの受検番号を記入する欄を設け、そこに受検番号を記入しなさい。

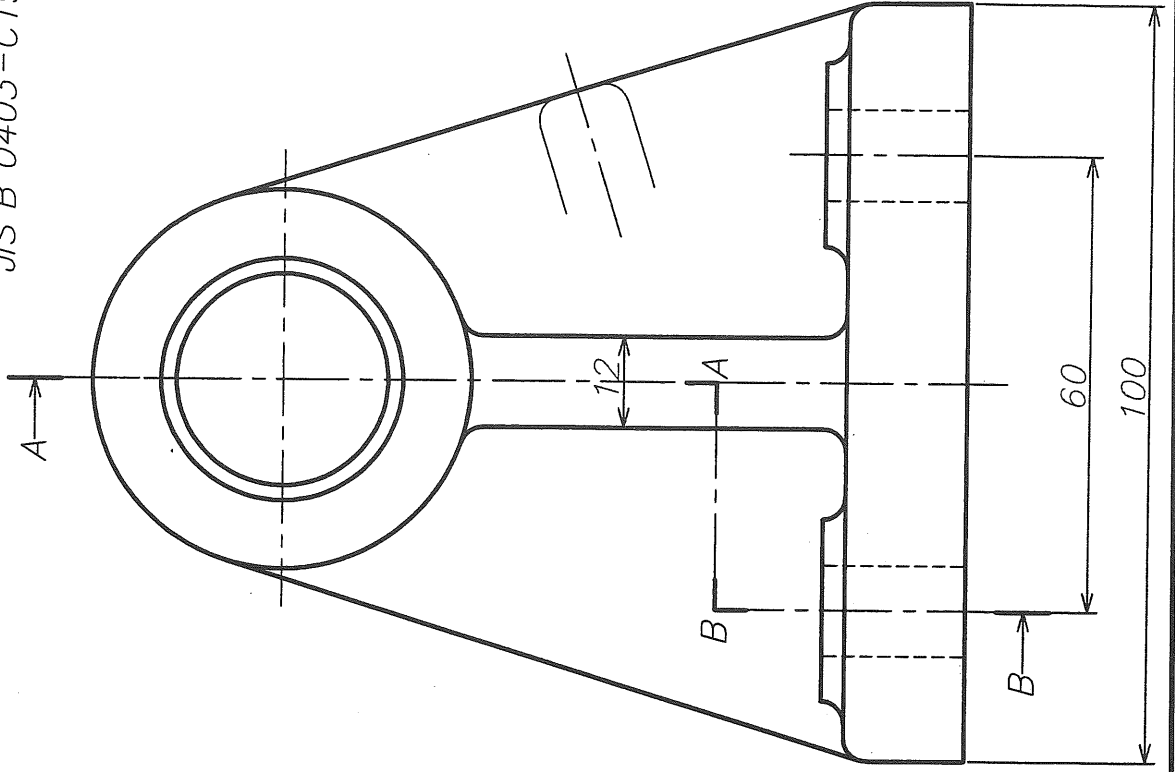
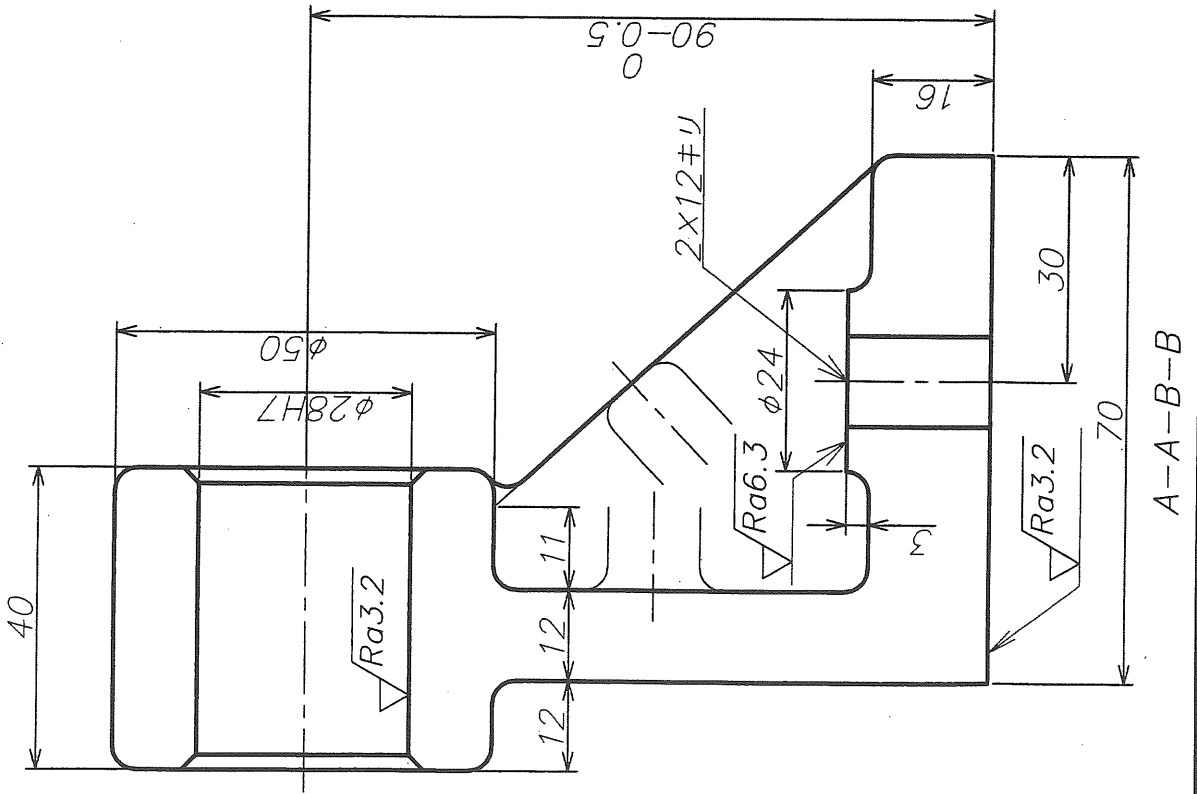


受検番号

$\sqrt{Ra\ 50}$ ($\sqrt{Ra\ 6.3}$ $\sqrt{Ra\ 3.2}$)

- 注 1. 指示のない丸み寸法はR3とする。
 2. 指示のない面取り寸法はC2とする。
 3. 個々に指示のない公差は次による。

JIS B 0419-ck
 JIS B 0403-CT9



第23回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙 (機械系)

- ・ 100点を満点とし、70点以上を合格とする。
- ・ 以下の採点項目について該当するものは、指定された点数を減点する。
- ・ 採点上で問題が生じた場合、採点委員の判断により対応する。

項目	減点の内容	点数
1 図法	第三角法で描かれていない	減点10点
2 図の配置	正しい位置に図が描かれていない	減点10点
3 寸法	指定された寸法 $90^{0}_{-0.5}$ が記入されていない	減点 5点
4 寸法記入法	寸法記入法に準じて記入されていない	減点 5点
5 線種および線の太さ	線の用法や種類が間違っている	減点10点
6 図形の正しさ	Fig. 1 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 2 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 3 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 4 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 5 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 6 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 7 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 8 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 9 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 10 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 11 が未完成または間違っている	減点 5点
	Fig. 12 が未完成または間違っている	減点 5点
減点の合計		
得点		
受検番号		合否判定
		合 否

判定の結果を、合・否いずれかに印を付けてください。

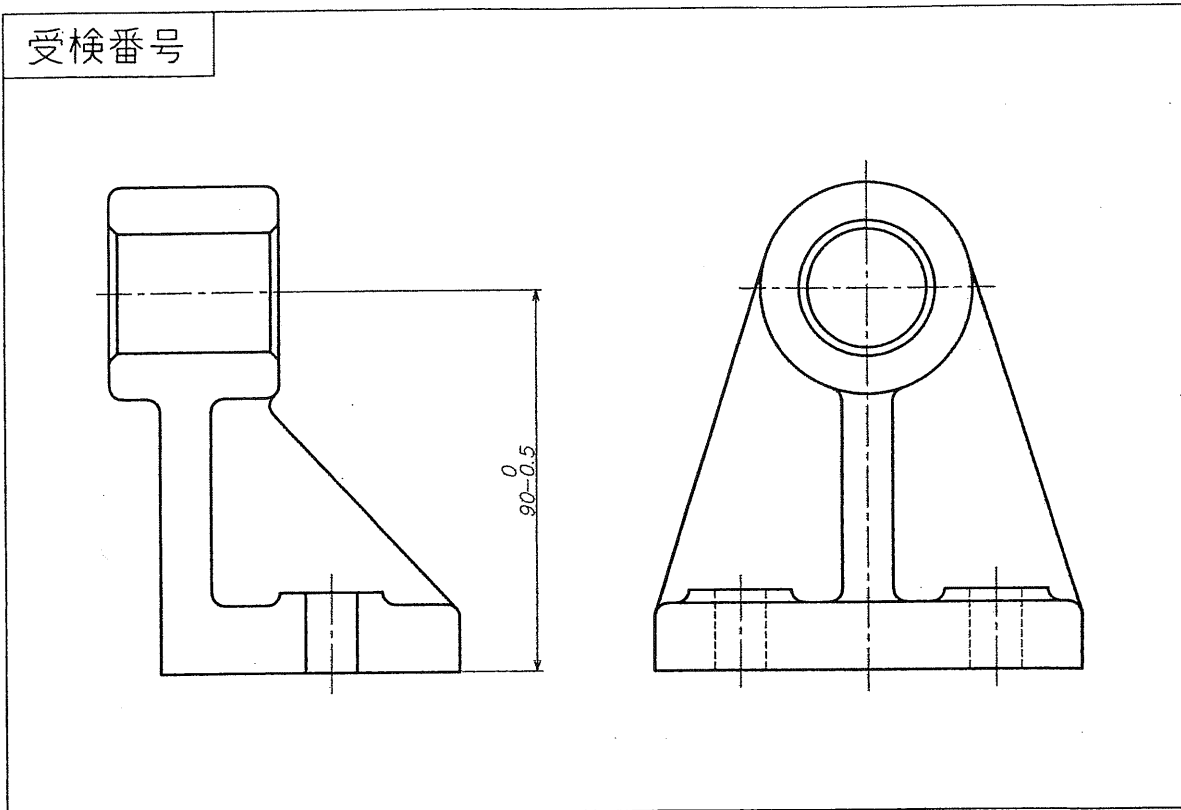
第23回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系） No.1

1 図法 【減点10点】

第三角法以外の図法で描かれているときには、指定された点数を減点する。

2 図の配置 【減点10点】

投影図の配置が正しくないときには、指定された点数を減点する。



3 寸法 【減点 5点】

問題中で指示された寸法 $90 \begin{smallmatrix} 0 \\ -0.5 \end{smallmatrix}$ が記入されていないものに対し、指定された点数を減点する。

4 寸法記入法 【減点 5点】

関係する JIS に従った寸法記入法以外で、寸法線、寸法補助線、端末記号が記入されている、あるいは未記入の場合に指定された点数を減点する。

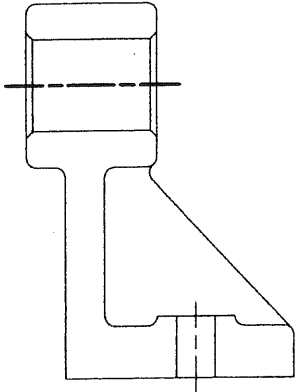
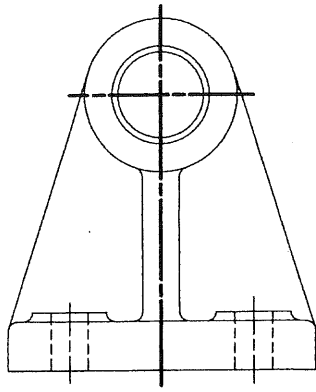
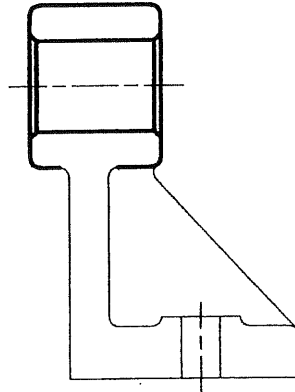
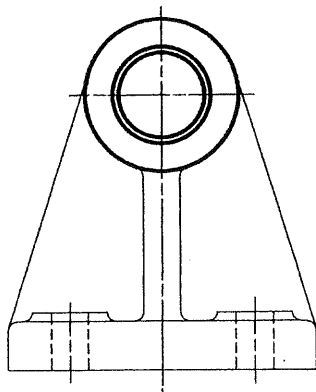
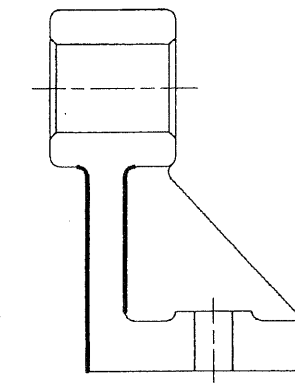
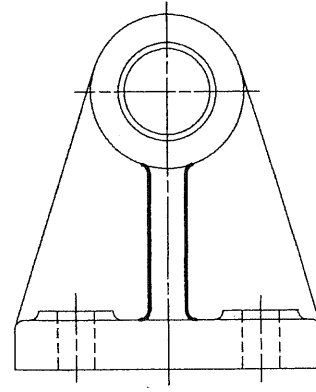
5 線種および線の太さ 【減点10点】

関係する JIS に従った線の用法や種類および太さによって作図されていないものに対して指定された点数を減点する。

第23回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準（機械系）No.2

6 図形の正しさ 【減点60点】

次に示す作図線が正しい寸法で描かれていない、またはずれているときには、指定された点数を減点する。

	
<p>Fig. 1 5点</p>	<p>Fig. 2 5点</p>
	
<p>Fig. 3 5点</p>	<p>Fig. 4 5点</p>
	
<p>Fig. 5 5点</p>	<p>Fig. 6 5点</p>

第23回 初級CAD検定試験 実技試験採点基準 (機械系) No.3

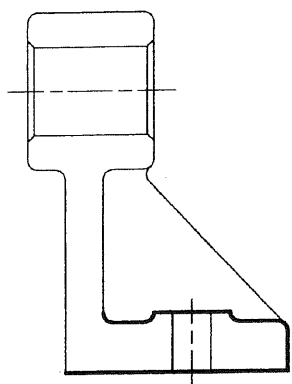


Fig. 7 5点

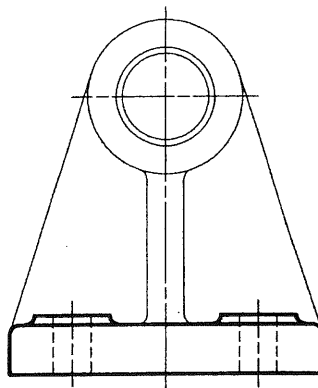


Fig. 8 5点

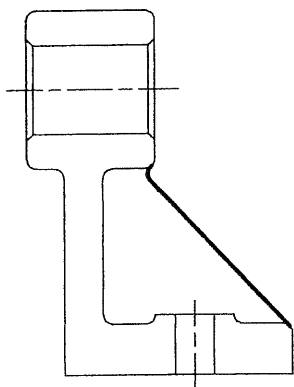


Fig. 9 5点

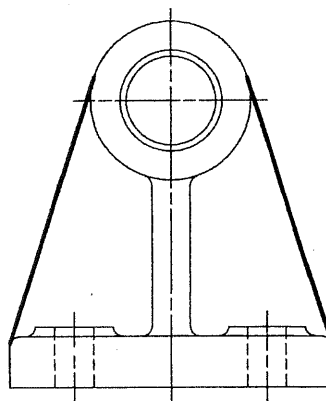


Fig. 10 5点

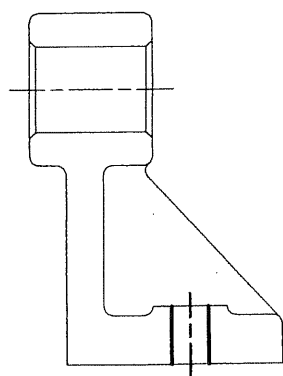


Fig. 11 5点

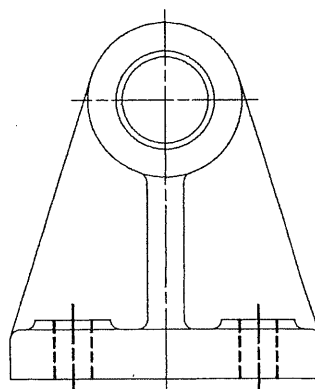


Fig. 12 5点

第23回 初級 C A D 検定試験

建築系 実技試験問題

注 意 事 項

- 1 試験時間 60分とする。(図面の出力時間は含まない)
- 2 提出方法 所定の用紙に印刷して提出しなさい。
- 3 その他 データの記録・保存等については、各試験場の指示に従うこと。

公益社団法人 全国工業高等学校長協会
C A D 検定委員会

問 題

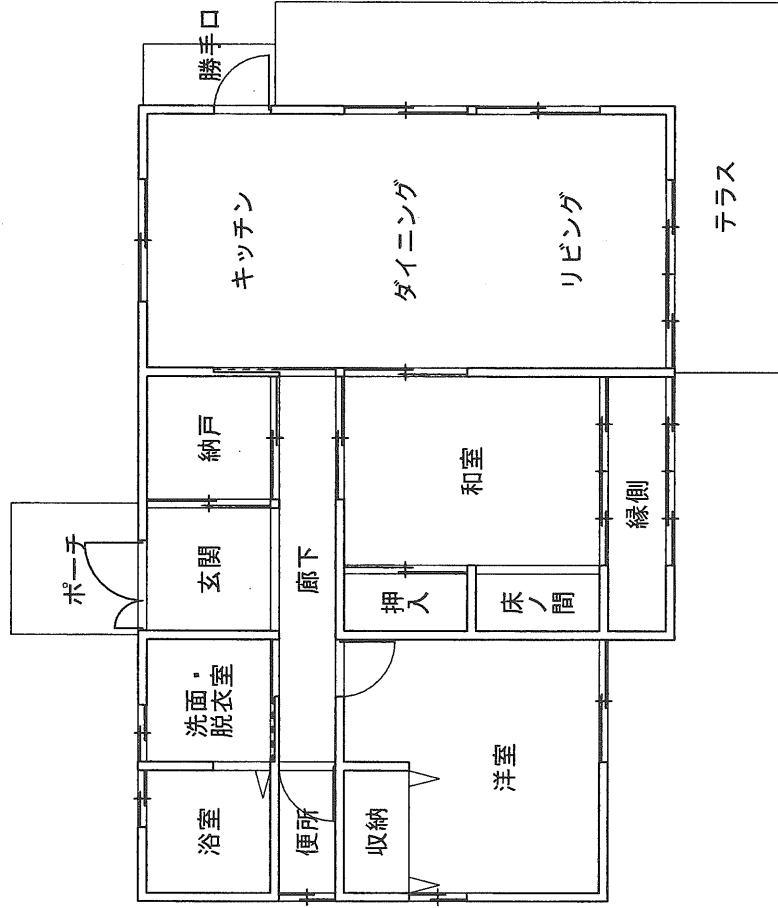
問題用紙に示されている木造平屋建住宅の略平面図について、製図要領に従いCADを用いて作図し、完成図を所定の方法で提出しなさい。

製 図 要 領

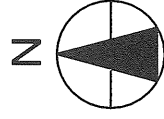
- 1 製図にあたっては、関係するJISの製図法に従って描きなさい。
- 2 用紙の大きさはA4判として、横置きとする。
- 3 尺度は、1：100とする。製図表現は尺度に適した表現とする。
- 4 壁、柱の表現は、柱を表現する複線式とし、柱は、構造的に必要な位置に正しく配置しなさい。
- 5 床仕上げ表現は、和室・廊下・縁側・ポーチ・テラス・勝手口に、適切な大きさと作図しなさい。
- 6 ダイニングに、テーブル(700×1200)1つとイス(400×400)4つを配置しなさい。
- 7 主要な壁位置が表示されるよう、寸法線を4面にわたり表現しなさい。
- 8 受検番号・図面タイトル・尺度・方位マークなど、必要事項を記入しなさい。

910 910 910 910 910 1365 455 1820 910 1820 910 910

1820 910 910 1820 910 910 1820 910 910 1820 910



1820 910 910 1820 910 2730 2730 910 1500



略平面図 1 : 100

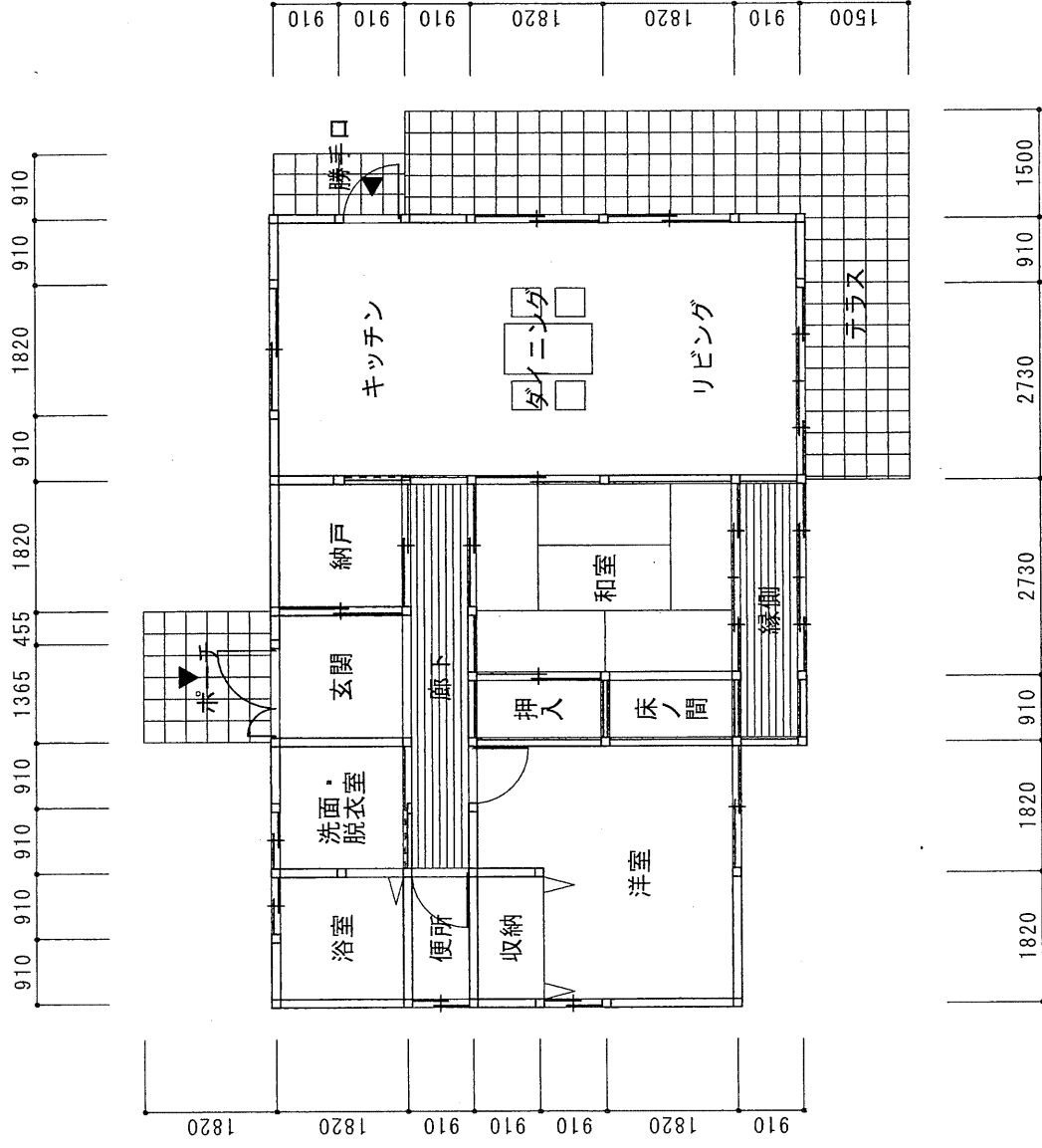
受検番号

第23回 初級CAD検定試験 実技試験採点用紙 (建築系)

- ・100点を満点とし、70点以上を合格とする。
- ・未完成図面(含・過半が未記入のもの)は、失格扱いで0点とする。
- ・補足事項の範囲を超えるものや、規定の尺度に対して不適切なサイズのもの、形の整っていないもの、不均一なもの等は、一カ所に-2点とする。
- ・一部の未記入や明らかな間違いは、一カ所に-4点(一部-10点)とする。
- ・採点で問題が生じた場合は、採点委員の判断により対応する。

	未記入・誤記 -4点	不定形・稚拙 -2点	備考・補足
1 製図全般			* 記入漏れは-10点
受検番号			文字高は5mm以上10mm以内。
図面位置(位置・向き) -10*			用紙は原則横使い、5cm以上ズレは誤記扱い。
図面名			文字高は5mm以上10mm以内。
尺度			文字高は5mm以上10mm以内。
寸法・寸法線 -10*			文字高は3mm以上10mm以内。
方位マーク			直径1.5cm程度。
線(含む端部納まり)			端部離れ0.3mm以上は稚拙、1mm以上誤記扱い。
線種・太さ・傾き			課題図以外の線種は誤記扱い。
文字・数字(除く: 図面名・室名)			一般文字高は3mm~10mm以内、誤記は-2点。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			
2 平面図の基本部分			
大壁の表記			極太線・太線の複線。細線は誤記。
真壁の表記			注) 極太線・太線の複線又は単線。細線は誤記。
併用壁の表記			極太線・太線の複線。細線は誤記。
壁と開口部(窓・ドア)位置			3mm以上のズレは誤記扱い。
柱(複線式)			柱位置のズレ・位置不適切も-4点。
入口の表記(三角形)			3mm~10mm程度。
室名			文字高は3mm以上5mm以内。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			注) 学校の指導による。
3 平面図の図記号等			
引違い戸(窓)			重なり部分0.5mm~2mm以内。
ドア(開き勝手)			開き方向の違いは誤記扱い。
廊下・縁側(縁甲板)の目地			線の間隔1mm~3mm以内で床仕上げに依る。
畳の目地			細線。1mm以上のズレは誤記扱い。
ポーチ・テラス・勝手口の目地			3mm以上のズレは誤記扱い。
ダイニングの家具			数不足、ダイニング以外の配置は誤記。
過剰な表現			余分な事項の記入など。
小 計			
減点の合計			得 点
受検番号	合否判定		合 否

判定結果を、合・否いずれかに印を付けてください。



略平面図 1 : 100

解答例

受検番号